

3/23・24 ～人と地域をつなぐ～  
タント演劇学校 熱演

タント演劇学校の第20回記念公演が根上総合文化会館で上演され、多くの観客を前にメンバーは練習の成果を披露しました。

物語は環境汚染が進んだ未来で新しい居住惑星を求めて宇宙を旅するシナリオで、ファッションショーや歌手の山本智美さんが歌を披露する企画も盛り込まれました。舞台美術はウルトラアートが手掛けており、宇宙をイメージした空間の美しさをカメラに収める来場者の姿も見えました。



自然保護の大切さをコミカルに伝えていました。

みんなでつくる  
博物館プロジェクト！

親子でやってみよう  
きのこの植菌体験

3月23日、シイタケの菌をコナラの原木に打込む、植菌体験を寺井地区公民館で行いました。

まずは、講師の先生からお話。クイズ形式で、大人も子どもも楽しみながら学びました。屋外では植菌作業。市内の里山から切り出したコナラの原木にドリルで穴をあけ、菌をハンマーで打込みます。

シイタケが収穫できるのは、2度夏を越えてから…「収穫できるのを楽しみにして育てたい」と各家族3本の原木をお持ち帰りしました。



協力しながら菌を打ち込んでいく参加者たち

3/25 ひぼ能ん・ゆず美ん  
1歳おめでとう！

能美市公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん」の1周年を記念する式が市役所で行われました。キャラクターのデザインを考案した寺井高校美術部員が集まり、寄せ書きしたお祝いの色紙を手渡し、部長の真田芽依さんがお祝いの手紙を読み上げました。

また同日、1周年に合わせて根上学習センターでシテイプロモーションタウンミーティングを開催。参加者は市の課題や魅力を高めるために自分たちができることは何かを話し合いました。



1年で70回を超えるイベントなどに出演したひぼ能ん・ゆず美ん。今後の活躍を期待するメッセージが寄せられました。

みんなでつくる  
博物館プロジェクト！

春の和田山古墳散策会

4月6日、春の陽気に包まれ、桜も八分ほど開花する中、和田山古墳散策会が行われました。

能美古墳群で最初に造られた9号墳をはじめ、少女が眠る1号墳、国内最古の文字須恵器が出土した23号墳、前方後円墳の5号墳などたくさんの古墳を見学しました。

また後半は、工事が進む新博物館を見ながら歴史民俗資料館に戻り、古墳出土品を見て、新博物館に飾る九谷焼タイルの絵付けを行いました。



学芸員もなかなか案内することが少ない和田山城や護国寺跡にも立ち寄って、和田山の歴史を満喫しました。

みんなでつくる博物館プロジェクト！

2020年の開館をめざして、和田山史跡公園の横で新しい博物館の建設を進めています。みんなで一緒に新しい博物館をつくってみませんか？

通年参加型プロジェクト 要 事前申し込み

昔ながらの道具を使って、お米をつくろう！

昭和20～30年代の農機具を使い、お米を育ててみませんか？田植えから収穫、わらを使ったものづくりまで、一連の作業を体験します。11月には、収穫したお米をかまどで炊いておにぎりを作ります！

日 時…5月18日(土) 9時～正午

集合場所…歴史民俗資料館

対 象…小学生以上の親子(先着10組) ※必ず保護者同伴

講 師…平野俊也氏

申込期間…5月7日(火)～15日(水)

9時～17時まで(日曜日・月曜日休館)

持 ち 物…飲み物・長靴・タオル・着替えなど

服 装…作業のできる服装

※田植えに参加された方に、今後のご案内を送らせていただきます。



今年の田植えの様子

お申し込みは博物館事務局へ！

みんなでつくる博物館プロジェクトに興味のある方は博物館事務局まで！

ご連絡お待ちしております！

申込み、問い合わせは博物館事務局(☎52-8050)まで 日曜・月曜休館

※これまでのみんなでつくる博物館プロジェクト(3月、4月)については25ページの「まちのできごと」で紹介しています。

今月の手話

問い合わせ 福祉課(☎58-2230、FAX58-2294)

「住所」

- ①両手の指先をつけ、屋根(家)の形をつくる
- ②右手5指を曲げ、指を下に向け、軽く下におろす



「趣味」

- ①開いた右手を頬につける
- ②あごの下に向かって親指から順番に握りながらおろす



4/10 良い戸の日  
建具を無償修理

4月10日、「良い(4)戸(10)の日」にちなみ、能美建具組合6名が市内の高齢者宅8軒を訪ね、玄関や勝手口の戸の不具合などを無償で修繕しました。

作業するにあたり、市役所で出発式が行われ、小谷達也組合長があいさつし、井出市長は「毎年ありがとうございます。よろしくお願いします」と激励しました。組合の方々には意気込みを語り、掛け声とともに各々担当のお宅へ向かいました。



掛け声とともに出発した建具組合の皆さん

4/10 南千歳さん  
百歳おめでとうございます

4月10日、秋常町の南千歳さんがめでたく100歳を迎えられ、細川副市長からお祝い状と九谷焼の記念品が手渡されました。

南さんは字や絵を書く事が好きで、98歳くらいまで「俳句・折句」を作ったり、絵を挿し込んだ日記をつけたりしていたそうです。また、自分や子、孫の服やベストを編むなど編み物をするのが好きだと教えてくれました。



左から細川副市長、南千歳さん、南さんのご家族

4月 ダンスや体操で健康維持  
健康クラブ開講式

4月初旬、市内3地区の健康クラブの開講式が開かれました。4月3日は寺井末広健康クラブ、4日は根上はまなす健康クラブ、6日は辰口健康クラブ“スマイル”で開講式が開かれ、おおむね60歳以上の会員計95名が参加し、ダンス・体操を楽しみました。

それぞれのクラブの会長からクラブ員に向けてあいさつがあり、1年間の抱負が力強く述べられました。開講式後にはさっそく活動があり、参加者同士元気に親睦を図りました。



3地区の健康クラブは年間36回開かれ、クラブ参加も随時受付しています。問い合わせ スポーツ振興課 (Tel 58-2273)

3/28 力士の大きさと強さを間近で体験  
輝関と園児が相撲交流

石川県出身の力士輝関が粟生保育園、辰口保育園を訪れ、園児と保護者、地域住民と交流を深めました。

辰口保育園では、輝関が登場すると園児が「大きいー!」と歓声をあげ、続く質問コーナーでは「どうしたら輝関のように大きくなって強くなれるの?」「どうして輝関という四股名にしたの?」など質問が次々と飛び交い園児は興味深々。歌やダンスなどで歓迎したほか、園児複数人で挑戦するちびっこ相撲や綱引きを楽しみました。



輝関とちびっこ相撲 遊戯室に「頑張れー」と両者を応援する声が響きました。(辰口保育園)

4/13 石川県で初開催  
音がテーマの防災人形劇

災害時などに警報音に注意を払うことの大切さを伝える防災人形劇「カンカン塔のみはりばん」を防災センターで上演しました。人形劇団・たくたく堂のくどうたくとさんとダンサーでもある表現力豊かなアコーディオニストのみーこさんが出演し、人形劇で楽しみながら音の情報伝達の重要性を学びました。

当日は「防災グッズを作ろう」コーナーも併せて開かれ、参加者は牛乳パックを使ったホイッスル作りや新聞紙を使ったスリッパ作りを体験していました。



いつもと違う音が聞こえたときは、耳をすまして聞き、どうするか考えることを動物たちの話を通じて学びました。

4/12 大きくなあれ  
福岡保育園児が加賀丸いも植え付け

福岡保育園の年長児37名が、中庄町の畑で市特産品である「加賀丸いも」の種芋の植え付け作業を体験しました。この体験は「中庄町丸いも音楽会」が企画しています。

園児らは音楽会の南修二さんの指導を受け、重さ約50~70グラムの種芋を畝に植え込みました。仕上げの土をかけるときは、種芋を見ながら何度も「大きくなあれ、おおきなあれ」と声に出し、丸いもの成長を願いました。



種芋を植えたあと、丁寧に土とわらをかぶせる園児たち

4/10 シイタケ大好き!  
根上南部保育園児がシイタケ植菌体験

根上南部保育園の年長児37名が園の玄関前で、大きく育つように願いを込めて、ほだ木25本に約500駒のシイタケの菌を植えました。この体験は「高坂・根上町緑を守る会」が企画し毎年行っています。

会員6名と一緒に、児童はほだ木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌をかなづちを使って埋め込みました。菌打ち後は、シイタケになるまでの過程や自然の恵みをいただくときの感謝の気持ちを学びました。来年の2月頃に収穫体験し、給食で提供される予定です。



最初は多くの子が恐る恐る打ち込んでいましたが、すぐに慣れ、楽しみながら作業する様子が見られました。

4/6 小学生約300人が参加  
ジュニアスポーツクラブ結団式

物見山総合体育館で能美市ジュニアスポーツクラブ結団式が行われ、参加した25クラブが紹介されるなど、ジュニアスポーツクラブの結束力を確認しました。

結団式後、ジュニアスポーツクラブの役員や指導者・保護者、能美市スポーツ推進委員が中心となり、体力テストを行いました。市内25クラブの小学生約300人が日ごろの運動の成果を出し合い、上体起こし、腕立て伏せ、立ち幅跳び、時間往復走、5分間走の5種目を測定しました。



物見山陸上競技場では、春を感じさせる温かい陽気のなかで5分間走を行い、一生懸命走って好記録を目指しました。